工事番号 ７ ０ Ｒ ５
資料番号 Ｍ １ ６ ０ ２ ０
作成日 2019.01.22
改訂 4 2019. 1.22
ARROWS M357

システム名　見守りシステムＭｉ－Ｒｕ

機器名　携帯端末(介護者向け、見守り操作編)

型名　ＭＳ－ＫＴ００２

書類名　取扱説明書

承認	審査	審査	作成

出図印

ワイエイシイエレックス株式会社

改　　訂

改　訂		内　　容	ページ	担　当
No.	日　付			
4 ARROWS	2019. 1.22	新規作成 携帯端末をASUS ZenFone を ARROWS M357に変更したことにより新規作成 「取説M16020改訂04見守り_携帯端末取説_介護者向け」を元に改訂したが、改訂No.を統一したいので本書を改訂04ARROWSとして管理する		黒田
		(改訂04からの変更点) Ⅱ.1. 開梱　変更 納入品一覧をARROWS M357対応に変更 Ⅱ.2. 充電方法　変更 充電の際の状態表示LEDの挙動をARROWS M357対応に変更 ○.　表紙2種類と保証書 型名をMS-KT002に変更	 P5 P6 表紙 添付	

資料番号　Ｍ１６０２０

ARROWS M357

第１版

システム名	見守りシステムＭｉ－Ｒｕ
機　器　名	携帯端末(介護者向け、見守り操作編)
型　　名	ＭＳ－ＫＴ００２
書　類　名	取扱説明書

●この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

誤ったご使用方法は、事故につながる恐れがあります。

●この取扱説明書は、必要な時に取り出して読めるように大切に保管してください。
●故障点検、その他のご相談については、販売元、または当社までご連絡ください。

ワイエイシイエレックス株式会社

目　　次

I.　はじめに 1
　１．　安全上の注意事項 1
II.　端末について 5
　１．　開　梱 5
　２．　充電方法 6
　３．　電源を入れる／切る 6
III.　アプリ(マルチモード)について 7
　１．　見守りサービスアプリを開く 7
　２．　マルチモードでログインする 8
　３．　入居者一覧画面 9
　４．　見守り画面（マルチモード） 10
　５．　離床設定画面（マルチモード） 11
　６．　メニュー説明（マルチモード） 13
　７．　対応操作説明 14
　８．　異常の内容説明と対応（マルチモード） 15
IV.　アプリ(シングルモード)について 17
　１．　見守りサービスアプリを開く 17
　２．　シングルモードでログインする 17
　３．　見守り画面(シングルモード) 18
　４．　離床設定画面(シングルモード) 20
　５．　メニュー説明(シングルモード) 22
　６．　異常の内容説明と対応(シングルモード) 23
V.　使用上の注意 24
VI.　ソフトウェア使用許諾書 25

I.　はじめに

ご使用の際は必ず本マニュアルをお読みになり、正しくご使用ください。

本製品は見守りシステムＭｉ－Ｒｕ（以下Ｍｉ-Ｒｕ）専用に調整された端末です。

使用するには見守り装置（ＭＳ－ＫＨ００１）が必要となりますので、別途お買い求めください。

Ｍｉ-Ｒｕに使用する「携帯見守りサービス」アプリ（以下携帯アプリ）はプリインストール

されております。

新たなソフトをインストールしたり、SIM・SD カードを挿入したりしないでください。

１．安全上の注意事項

製品を、快適、かつ安全にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。誤った使用方法や不用意な操作は、事故の原因となる恐れがあります。

なお、この取扱説明書では、安全上の注意事項を重要度に従って、次の３種類に区分してあります。

⚠ 危　険

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こり得て、回避されなければ、生命や身体に重大な被害（死亡、または重傷）が発生する可能性が高い場合。

⚠ 警　告

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こり得て、回避されなければ、生命や身体に重大な被害（死亡、または重傷）が発生する可能性がある場合。

⚠ 注　意

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こり得て、回避されなければ、回復可能な軽傷程度の被害、または物損事故の発生する恐れがある場合。

以下の注意事項をよく読んで、正しくご使用ください。

⚠ 危　険

● 高温になる場所で使用、保管、放置しないでください。
○ 火災、やけど、けがの原因となります。

● 電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に入れないでください。
○ 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

● 分解、改造をしないでください。
○ 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

● 水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください
○ 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

● 充電端子やヘッドセット端子接続、microUSB接続端子に液体(水や飲料水、ペットの尿、汗など)を入れないでください。
○ 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

● 携帯端末をトイレやお風呂等の水やお湯の溜まった場所に落とした場合は御使用を控えてください。
○ 表面が乾いていても内は濡れているので火災、やけど、怪我、感電する可能性があります。電源を切って代理店、メーカーへお問い合わせ下さい。

● 火の中に投下したり、熱を加えたりしないでください。
○ 内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

● 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりなど過度な力を加えないでください。
○ 内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

● 内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときには、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の診察を受けてください。
○ 失明の原因となります。

⚠ 警　告

● 強い力や衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
○ 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

● SIM・SDカードの挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
○ 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

● 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
○ 火災、やけどの原因となります。

● ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
○ 視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因になります。

● 着信音が鳴っているときなどは端末を耳から離してください。イヤホンマイクなどを本端末に装着し使用する場合は、適度なボリュームに調整してください。
○ 音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

● 心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。
○ 心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

● 万一、ディスプレイ部やカメラのレンズが破損した際には、割れたガラスや露出した本端末内部にご注意ください。
○ 誤って割れた破損部や露出部に触れますとけがの原因となります。

● 内蔵電池の漏液や、異臭がするときは直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
○ 漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

● ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電している場合は中止してください。
○ ガスに引火する恐れがあります。

● 使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、いままでと異なるときは、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、本端末の電源を切ってください。
○ 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

● アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
○ 火災、やけど、感電の原因となります。

● ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
○ 火災、やけど、感電の原因となります。

● 濡れた手でアダプタのコードや充電端子、コンセントに触れないでください。
○ 感電の原因となります。

● 雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
○ 感電の原因となります。

⚠ 注　意

● ソフトをインストールしないでください。
○ 携帯アプリが動作しなくなることがあります。

● SIM・SDカードを挿入しないでください。
○ 見守りシステム用携帯端末や携帯アプリが動作しなくなることがあります。

● 次の環境では使用しないでください。
（１） 極端に高温、あるいは低温になる場所
（２） ヒータの様な熱器具、熱源の近く
（３） 直射日光の当たる場所
（４） 振動の多い場所
（５） 湿度の高い場所
（６） 油や鉄分を含むホコリの多い場所
（７） 近くに、強力な電波発生源がある場所（強力な電磁界の存在する場所）
○ 誤動作、故障の原因となります。

● ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
○ 本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

● 本端末が破損したまま使用しないでください。
○ 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

● 誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
○ 失明や皮膚に障害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診療を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石けんなどで洗い流してください

● 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
○ 発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は販売店にご連絡頂くか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

● お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

● ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を取ってご使用ください。
○ 視力低下の原因となります。

● 携帯端末を落とさないようにして下さい。
○ 足元に落下すると怪我をする原因となります。

● 携帯端末をトイレやお風呂等の水やお湯の溜まった場所に落とした場合は御使用を控えてください。
○ 表面が乾いていても内は濡れているので故障する可能性があります。

II.　端末について

１．開　梱

［１］ 梱包を開封し、内装材ごと、落とさないように注意深く取り出してください。

［２］ 梱包を開封された時、すぐに一覧表に示す物品が納入されているかどうか
ご確認ください。
もし、欠品している場合は、販売元までご連絡ください。

納入品一覧表

	品　　名	数　量
１	本体	１台
２	ＡＣアダプタ	１個
３	microUSBケーブル	１本
４	取扱説明書	１セット

１．本体	２．ＡＣアダプタ	３．microUSBケーブル	４．取扱説明書

画像はイメージです実際とは異なる場合があります。

２． 充電方法

［１］ ＡＣアダプタの USB 端子に microUSB ケーブルの USB 端子側を挿します。

［２］ microUSB ケーブルの microUSB ケーブル側を本体の microUSB 端子に挿します。

［３］ ＡＣアダプタを AC100V コンセントに挿します。
充電中は端末本体の状態表示ＬＥＤが赤色に点灯し、液晶画面上部にバッテリ状態マークが表示されます。

［４］ 充電が終了するとバッテリ状態マークが満充電(Full)となり、端末本体の状態表示ＬＥＤが消灯します。

［５］ また、満充電(Full)となりましたら、バッテリの劣化を防ぐため、本体をコンセントから外すようにしてください。

３． 電源を入れる／切る

［１］ 電源を入れる

(1) 電源キーを１秒以上押します。
本端末が振動し、しばらくするとロック画面が表示されます。

注. 携帯端末の電源はアクセスポイント、管理パソコン、見守り装置本体の電源をいれた後に入れてください。

［２］ 電源を切る

(1) 電源キーを１秒以上押します。

(2) 選択画面が表示されるので「電源を切る」ボタンをタップ（指でボタンに軽く触れる）し、電源を切ります。

注. 携帯端末の電源を切ってからアクセスポイント、管理パソコン、見守り装置本体の電源を切ってください。

［３］ スリープモード

(1) 電源キーを軽く押すか、携帯端末を一定時間操作しないことでスリープモードに入ります。
アプリ使用中(見守り状態)にスリープモードにしても、警告は正しく通知されます。

注. アプリをバックグラウンドに入れないでください。警告が正しく通知されないことがあります。

注. アプリをバックグラウンドに入れた状態でスリープモードにしないでください。警告が正しく通知されないことがあります。

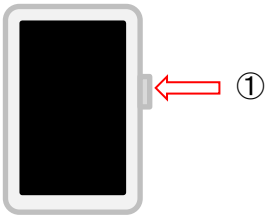
注. 通話中にスリープモードに入ると通話が切れますのご注意ください。

III. アプリ（マルチモード）について

※本アプリはマルチモードとシングルモードの２つのモードがあり　ます。管理者によってどちらかに設定されていますので、どちらに　設定されているか不明な場合は管理者にお訪ねください。

１．見守りサービスアプリを開く

① 電源を入れ、ロック画面を開きます。



② 画面を下から上にスワイプ（画面に触れた状態で指を滑らせる）します。

③ メイン画面が開きましたら、「見守りサービス」アイコンをタップします。
メイン画面でない場合は画面下中央のホームキーをタップすると、メイン画面に戻ります。

④ 見守りサービスアプリスタート画面が開きます。

メイン画面

④見守りサービスアプリスタート画面

２． マルチモードでログインする

① 見守りサービスのスタート画面で「次へ」をタップします。

② グループ選択画面が開きますので、端末を使用する「グループ」をタップします。

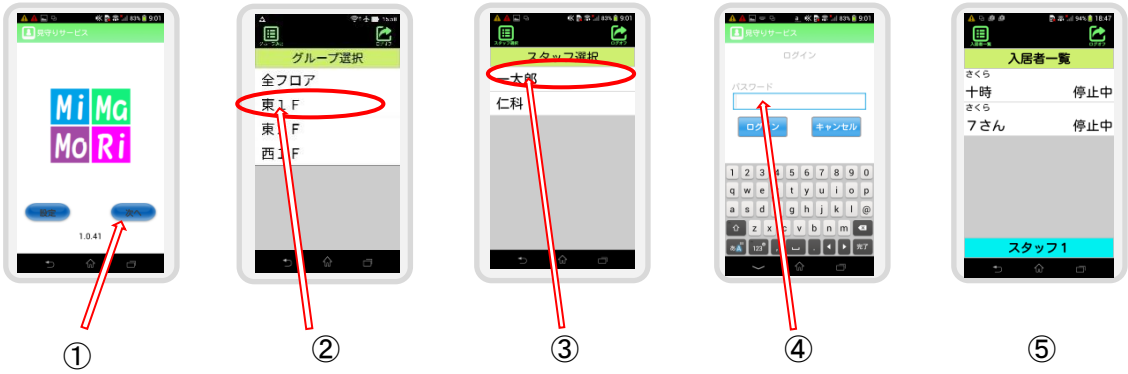
※　グルーピングしていない場合は直接③に進みます

③ スタッフ選択画面が開きますので、端末を使用する「スタッフ名」をタップします。

※　グルーピングしている場合は、②で選択したグループに属するスタッフが表示されます

④ パスワード入力画面が開いたら、スタッフに対応したパスワードを入力します。

⑤ 入居者一覧画面が開きます。

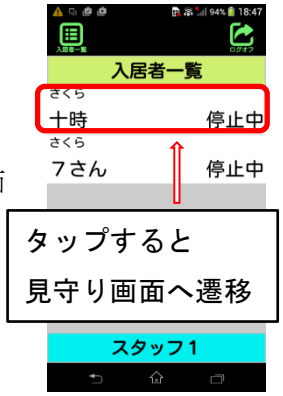


注．グループ，スタッフ名，パスワードはパソコンの「見守りシステム」WEB アプリにて設定します。

３． 入居者一覧画面

［１］ 入居者名と入居者の状態を一覧表示で確認できます。
表示される内容は下記の表を参照ください。

［２］ 「入居者名（画面では十時さん）」をタップすると、見守り画面（「４．見守り画面」参照）に遷移します。



■入居者一覧画面表示内容　（異常への対応方法は「８．異常の内容説明と対応」を参照してください。）

No	色/表示文字	内容
1	停止中	見守り停止状態
2	見守中	見守り中状態
3	警告	見守り中に見守り対象者が離床（起上りまたは端座位）した状態
4	(介護者名) 対応中	(介護者名)さんが対応操作ウィンドウで“対応する”を選択した状態 （「７．対応操作説明」参照）
5	見守開始中	見守り停止中に携帯アプリの「開始」ボタンが押され見守り中に遷移している状態
6	見守終了中	見守り中に携帯アプリの「停止」ボタンが押され停止中に遷移している状態
7	管理 OFF	管理 PC と携帯端末との通信異常状態
8	通信異常	管理 PC と携帯端末との通信（映像，音声）異常状態
9	DB 異常	管理 PC のデータベースと携帯端末の通信異常状態
１０	センサチェック	オプション品との通信異常状態
１１	センサ OFF	管理 PC にて装置実行が行われていない状態
１２	センサ異常	見守り装置と管理 PC 間の通信異常状態 警告音が鳴ります。
１３	離床未設定	見守り装置の離床設定がなされていない状態 離床検出条件の設定が必要です。
１４	圏外	携帯端末のネットワーク異常(Wi-Fi の圏外) 無線 LAN の圏外に出ています。警告音が鳴ります。 圏内に戻ってください。 圏外になった時に見守り対象者が変わることがあります。圏内に戻った時に見守り対象者氏名をご確認ください。
１５	管理異常	管理 PC の異常状態

４． 見守り画面（マルチモード）

入居者の状態、映像が確認できます。入居者の見守りを開始、停止することができます。
入居者と通話することもできます。

① 入居者名

入居者名、部屋番号の表示（管理者が設定しています）。タップすると対応操作ウィンドウ(詳細は「７．対応操作説明」を参照)が表示されます。

② 状態/映像表示

状態/映像を表示します。タップで状態・映像表示の切替えを行います。
管理者によって映像表示が状態表示に一定時間経つと自動で切り替わる設定ができます。

③ 見守り開始/停止ボタン

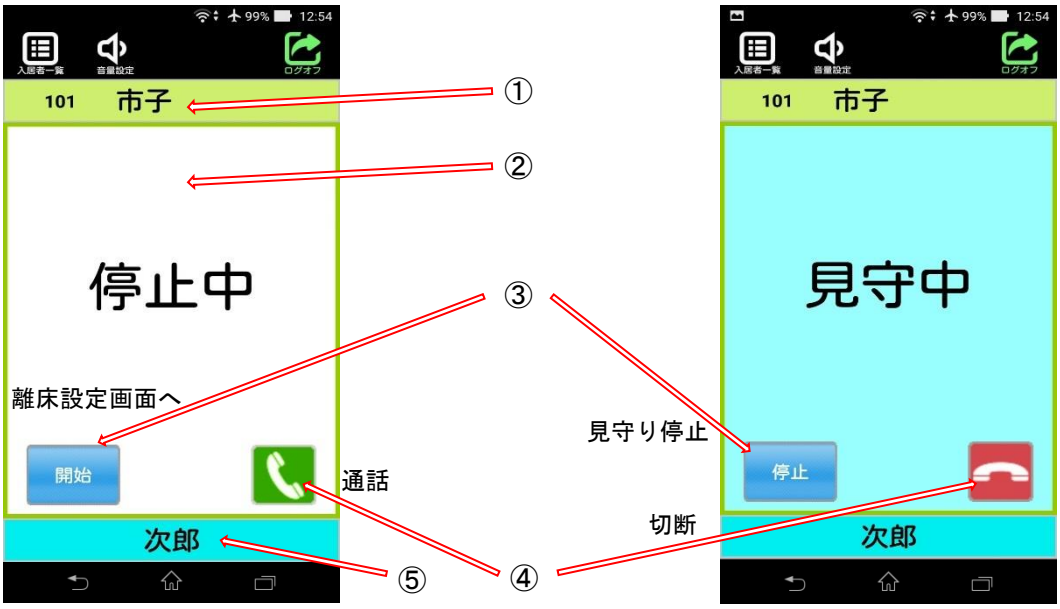
「開始」ボタンをタップすると、離床設定画面（「５．離床設定画面」参照）に遷移し、見守り開始もしくは離床検知条件の設定を行います。見守り対象者が横になり、体勢が安定してから見守りを開始してください。見守り開始を実行した場合、見守り画面に戻り、見守りを開始します。見守中に遷移するまでに数十秒かかります。見守り中は「停止」ボタンに表示が変わり、タップで見守りを終了します。警告状態などを停止中に戻す場合にも「停止」ボタンをタップし、再度見守り開始処理を行ってください。

④ 通話ボタン

緑の「通話」ボタンをタップする（緑から赤のボタンに変わります）と入居者と通話できます。
赤の「切断」ボタンをタップする（赤から緑のボタンに戻ります）と通話を終了します。
通話は10分で自動終了します。なお、通話中は画面の状態/映像表示の切り替えはできません。
※他の端末で通話中の時、通話ボタンをタップすると
　“他の人が通話中です　しばらくたってからお掛け直し下さい”
　と表示され、通話はできません。

⑤ スタッフ名

スタッフ名を表示します。



５． 離床設定画面（マルチモード）

見守り装置が離床検出する条件を設定します。
見守り装置の電源投入後、初めて見守りを開始する場合や、
設定を変更したい時に使用します。
※Wi-Fi 環境の良い場所で設定してください。

① 離床設定画面 1(設定情報の確認)

離床検知設定情報の確認をします。
見守り装置の電源投入後、一度は「変更」ボタンをタップし、設定内容の確定をしてください。
設定に問題なければ「OK」ボタンをタップし、
見守りを開始してください。

①

「OK」で見守り画面に戻り、見守り開始
「変更」で②へ

② 離床設定画面 2

「ベッドの距離設定」、「身長の設定」、「通知レベル設定」を行います。
「ベッドの距離設定」は見守り装置とベッドの距離を入力します。距離を測定し、”30cm 未満”と”30cm 以上”から該当する方を選択してください。
「身長の設定」は「設定」ボタンをタップすると選択項目が表示されます。対応する身長をタップで選択した後、「OK」をタップします。対応する身長は下記のようになります。

②

「戻る」で見守り画面へ
「次へ」で③へ

”120cm 以上” ： 120cm 以上 130cm 未満
”130cm 以上” ： 130cm 以上 140cm 未満
”140cm 以上” ： 140cm 以上 150cm 未満
”150cm 以上” ： 150cm 以上 160cm 未満
”160cm 以上” ： 160cm 以上 170cm 未満
”170cm まで” ： 160cm 以上 170cm 未満

「通知レベル設定」は”起上り”または”端座位”をタップして選択してください。
“起上り” ： 入居者が起上り時に警告を出す
“端座位” ： 入居者がベッドの横に足を下ろす体制に移る時に警告を出す
すべての設定が終わりましたら「次へ」をタップします。
「戻る」をタップすると設定を変更せずに終了します。

③ 離床設定画面 3

「ベッドの高さ設定」、「離床範囲の設定」を行います。
「ベッドの高さ設定」は「設定」ボタンをタップすると選択項目が表示されます。対応するベ

ッド高さをタップで選択した後、「OK」をタップします。対応するベッド高さは下記のようになります。

”10cm 以上”　：　10cm 以上 20cm 未満　（注）

”20cm 以上”　：　20cm 以上 40cm 未満

”40cm 以上”　：　40cm 以上 50cm 未満

”50cm 以上”　：　50cm 以上 60cm 未満

「離床範囲の設定」はベッドから降りることが可能な側を設定します。「左」「右」ボタンをタップし、オレンジ色であれば降りられる状態の設定になります。壁などがあり、ベッドから降りることのできない状態の場合のみ設定を外して下さい。見守り設定時、見守り対象者が降りられる側に行くと警告を出します。

③

降りられる側をオレンジ色にします。

ベッド配置調整用ガイドライン

「戻る」で②へ
「次へ」で④へ

また、ベッドの配置が装置に対して問題なく配置できているか確認するため、画像にベッド配置調整用ガイドラインを表示しています。ガイドラインに沿うようにベッドを配置して頂くと、装置のカメラに対してベッドの配置が問題なくできていますので、ずれているようでしたらベッドの配置の調整をしてください。「ベッドの高さ設定」でベッドの高さの設定値を変更するとガイドラインの位置が変わりますので注意ください。

設定が終わりましたら「次へ」をタップします。

「戻る」をタップすると②へ戻ります。

（注）ベッド高さ“10cm 以上”は設定しないでください。使用する必要がある場合は販売元にお問い合わせください。

④ 離床設定画面 4(設定情報の確認)

設定内容を確認し、問題なければ「設定」ボタンをタップしてください。見守り装置に設定します。

「戻る」をタップすると③へ戻ります。

「閉じる」をタップすると設定を変更せずに終了します。

④

「設定」で設定完了
「戻る」で③へ
「閉じる」で見守り画面へ

⑤ 離床設定画面 5

設定終了の確認として「以下の設定をいたしました。」と内容確認の表示がされますので「完了」ボタンをタップしてください。「4．見守り画面」に戻りますが、見守りは開始していません。再度①に戻り「OK」ボタンをタップすることで見守りは開始されます。

⑤

「完了」で見守り画面へ
※見守り開始は①の「OK」から

６．メニュー説明（マルチモード）

見守り画面上部に共通メニューがあります。

① 入居者一覧

タップすると入居者一覧を表示します。

② 音量設定

見守り装置のマイク・スピーカーの音量を設定します。

タップすると音量設定バーが表示されます。

表示されているバーを動かし、音量を設定してください。

青いバーの長さで音量を示しており、右に動かす程大きくなります。

設定を保存する場合は「設定」をタップしてください。

設定を保存しない場合は「キャンセル」をタップしてください。

※　通話中は音量設定ボタンが無効となります。設定する場合は通話を終了してから実施ください。

③ ログオフ

タップするとログオフ選択画面が表示されます。

「ＯＫ」をタップするとログオフし、見守りサービススタート画面に戻ります。

「キャンセル」をタップすると見守り画面に戻ります。

７． 対応操作説明

［１］ 見守り画面①にて入居者名・部屋名番号部をタップすると対応操作ウィンドウ②が表示されます。

［２］ 対応操作ウィンドウ②での操作

入居者への対応状況を選択し、「OK」ボタンをタップします。

対応する　　：選択すると「対応中」となります。

※運用上この機能を使用しない場合は選択しないでください。

対応済み　　：選択すると「対応中」を解除します。

対応出来ない　：選択しても変化はありません。

対応状況の表示のみですので、対応終了した場合は対応済みを選択し「OK」ボタンをタップしてください。

［３］ 対応中の見守り画面③（上記で“対応する”を選択した場合）

［４］ 対応中の入居者一覧画面④（見守り画面の左上に表示されている入居者一覧ボタンを押すと表示されます）

注．対応操作は表示を変更しているだけで、実際の見守り機能とは関連性がありません。
したがって、対応操作は「見守中」等の状態にかかわらず操作できます。
また、一旦“対応する”を設定した場合、「対応中」の表示は“対応済み”を設定しなければ解除されません。（ログオフした場合も同様）

「入居者名・部屋名番号」をタップ

①見守り画面　　②対応操作ウィンドウ　　③対応中の見守り画面　　④対応中の入居者一覧画面

８． 異常の内容説明と対応（マルチモード）

異常の内容説明と対応表

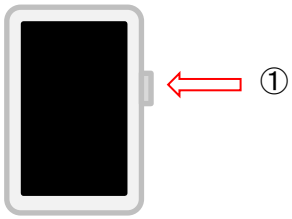
No	色/表示文字	内容・対応
1	管理 OFF	管理 PC もしくは管理アプリが異常です。 ・管理 PC の電源が入っていることを確認してください。 ・管理 PC を再起動してください（管理アプリの起動）。
2	通信異常	管理 PC と携帯端末との通信（映像，音声）異常状態です。 ・各 LAN ケーブルが接続されていることを確認してください。 ・各アクセスポイント（HUB）に電源が入っているか確認してください。 ・アクセスポイントに近付いてください。
3	DB 異常	管理 PC のデータベースと携帯端末の通信異常状態です。 ・各 LAN ケーブルが接続されていることを確認してください。 ・各アクセスポイント（HUB）に電源が入っているか確認してください。 ・アクセスポイントに近付いてください。
4	センサチェック	オプション品との通信異常状態です。 ・オプション品が離されていないか、電池が無くなっていないか を確認してください。 ・管理 PC を再起動してください。
5	センサ OFF	管理 PC にて装置実行が行われていない状態です。 ・管理 PC もしくは携帯端末に表示される“装置実行ボタン” （※次項参照）にて装置実行を行ってください。 ・アクセスポイントに近付いてください。
6	センサ異常	見守り装置と管理 PC 間の通信異常状態です。 アクセスポイントとの通信が一時的にできないと発生します。 ・見守り装置の電源が入っていることを確認してください。 ・管理 PC もしくは携帯端末に表示される“装置実行ボタン”　（※次項参照）にて装置実行を行ってください。 ・装置実行にて復帰しない時は見守り装置の電源プラグをコンセントから抜き、５秒以上間をおいて再度、電源プラグを入れてください。 起動音鳴動後、装置実行を行ってください。 ・発生頻度が高い場合は無線環境を見直してください。
7	圏外	無線 LAN の圏外にいます。 ・アクセスポイントに近づいてください。 ・各アクセスポイント（HUB）に電源が入っているか確認してください。 ・各アクセスポイントを再起動してください。
8	管理異常	管理 PC のソフトもしくはハードの異常です。 ・管理 PC を再起動してください。

※センサＯＦＦ、センサ異常時に表示される装置実行ボタン

センサＯＦＦ時は管理ＰＣに問題があるとき、センサ異常時は見守り装置、管理ＰＣに問題があると装置実行ボタンはグレー化して押すことができなくなります。管理ＰＣまたは見守り装置が問題ないかご確認ください。

IV. アプリ（シングルモード）について

※本アプリはマルチモードとシングルモードの２つのモードがあります。管理者によってどちらかに設定されていますので、どちらに　設定されているか不明な場合は管理者にお訪ねください。



１．見守りサービスアプリを開く

① 電源を入れ、ロック画面を開きます。

② 画面下から上にスワイプ（画面に触れた状態で指を滑らせる）します。

③ メイン画面が開きましたら、「見守りサービス」アイコンをタップします。

メイン画面でない場合は画面下中央のホームキーをタップし、メイン画面に戻ります。

④ 見守りサービスアプリが開きます。

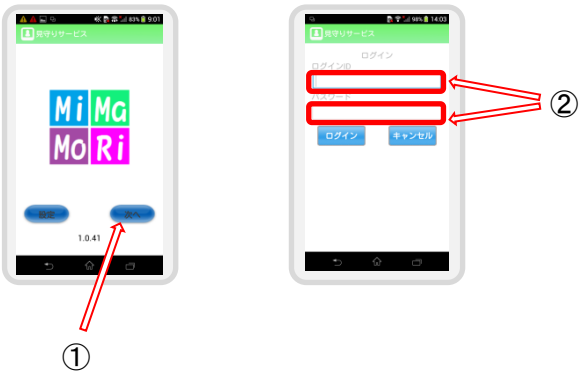
④

２．シングルモードでログインする

① 見守りサービスのスタート画面で「次へ」をタップします。

② ログイン画面が開きますので、ログイン ID とパスワードを入力します。

管理者が設定していますので、不明な場合は管理者にご確認ください。



３． 見守り画面（シングルモード）

入居者の状態、映像が確認できます。入居者の見守りを開始、停止することができます。
入居者と通話することもできます。

① 入居者名

入居者名、部屋番号が表示されます。
（表示内容の設定方法は「４．離床設定画面（シングルモード）」参照）

② 状態/映像表示

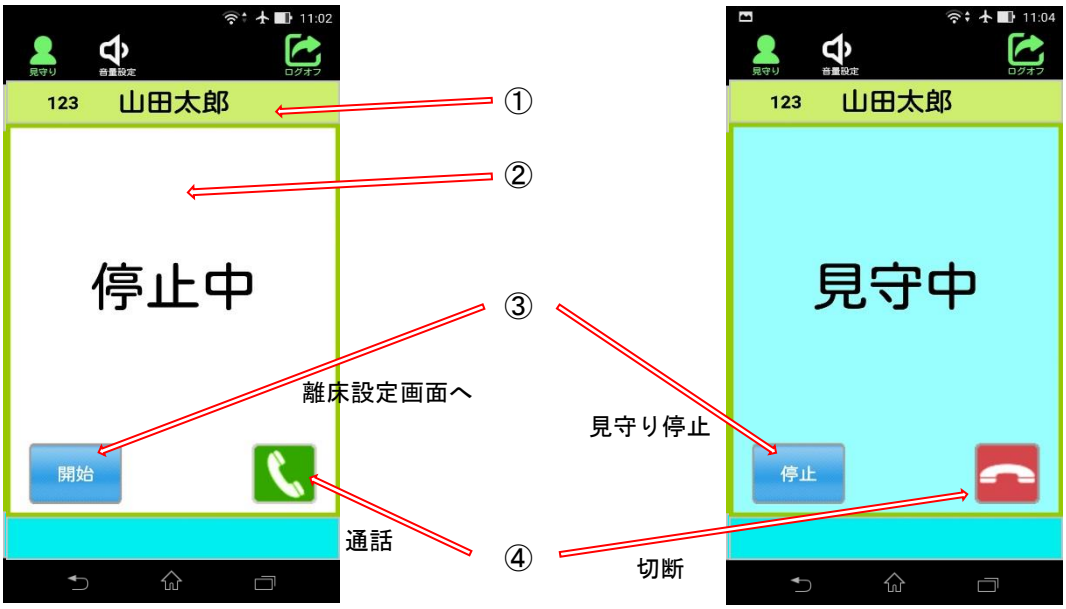
状態/映像を表示します。状態の表示内容は次項の見守り画面内容一覧表を参照してください。
タップで状態・映像表示の切替えを行います。
（管理者によって映像表示が状態表示に一定時間経つと自動で切り替わる設定ができます。）

③ 見守り開始/停止ボタン

開始ボタンをタップすると、離床設定画面（「４．離床設定画面（シングルモード）」参照）に遷移し、見守り開始もしくは離床検知条件の設定を行います。見守り開始を実行した場合、見守り画面に戻り、見守りを開始します。見守り対象者が横になり、体勢が安定してから見守りを開始してください。「開始」ボタンをタップ後、見守中に遷移するまでに数十秒かかります。見守りを開始すると「停止」ボタンに表示が変わり、タップで見守りを終了します。警告状態などを停止中に戻す場合にも「停止」ボタンをタップし、再度見守り開始処理を行ってください。

④ 通話ボタン

緑の「通話」ボタンをタップする（緑から赤のボタンに変わります）と入居者と通話できます。
赤の「切断」ボタンをタップする（赤から緑のボタンに戻ります）と通話を終了します。
通話は10分で自動終了します。なお、通話中は画面の状態/映像表示の切り替えはできません。



■見守り画面内容一覧表　（異常への対応方法は「６．異常の内容説明と対応」を参照してください。）

No	色/表示文字	内容
1	停止中	見守り停止状態 開始/停止ボタンがグレー化している間は、見守中への遷移中です。
2	見守中	見守り中の状態
3	警告	見守り中に見守り対象者が離床（起上りまたは端座位）した状態
4	見守開始中	見守り停止中に「開始」ボタンがタップされた状態
5	見守終了中	見守り中に「停止」ボタンがタップされた状態
6	センサチェック	オプション品との通信異常状態
7	センサ OFF	見守り装置とアクセスポイント間の通信異常状態 警告音が鳴ります。画面をタップすると警告音を停止できます。 異常事由を取り除き、再度見守りを開始してください。
8	圏外	携帯端末のネットワーク異常(Wi-Fi の圏外) 警告音が鳴ります。画面をタップすると警告音を停止できます。 圏内に戻り、再度見守りを開始してください。

４． 離床設定画面（シングルモード）

見守りシステムが離床検出する条件を設定します。

見守り装置の電源投入後、初めて見守りを開始する場合や設定を変更したい時に設定します。

※Wi-Fi 環境の良い場所で設定してください。

① 離床設定画面１（設定情報の確認）

設定情報の確認をします。見守り装置の電源投入後、一度は「変更」ボタンをタップし、設定内容の確定をしてください。

設定の確定が済んでいれば「OK」ボタンをタップして、見守りを開始してください。

② 離床設定画面１－２（入居者設定）

部屋名と入居者名を入力してください。

入力したら、「次へ」をタップしてください。

「戻る」をタップすると設定を変更せずに終了します。

③ 離床設定画面２

「ベッドの距離設定」、「身長の設定」、「通知レベル設定」を行います。

「ベッドの距離設定」はベッドと見守り装置の距離を設定します。”30cm 未満” と ”30cm 以上”から選択してください。

「身長の設定」は「設定」ボタンをタップすると選択項目が表示されます。対応する身長をタップで選択した後、「OK」をタップします。対応する身長は下記のようになります。

”120cm 以上” ： 120cm 以上 130cm 未満

”130cm 以上” ： 130cm 以上 140cm 未満

”140cm 以上” ： 140cm 以上 150cm 未満

”150cm 以上” ： 150cm 以上 160cm 未満

”160cm 以上” ： 160cm 以上 170cm 未満

”170cm まで” ： 160cm 以上 170cm 未満

「通知レベル設定」は”起上り”または”端座位”をタップして選択してください。

“起上り” ： 入居者が起上ると警告を出す

“端座位” ： 入居者がベッドの横に足を下ろすと警告を出す

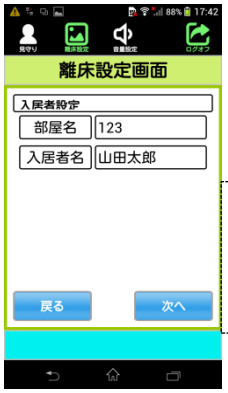
すべての設定が終わりましたら「次へ」をタップします。

「戻る」をタップすると②へ戻ります。

「OK」で見守り画面に戻り、見守り開始

「変更」で②へ

①



「戻る」で見守り画面へ

「次へ」で③へ

②

「戻る」で②へ

「次へ」で④へ

③

④ 離床設定画面３

「ベッドの高さ設定」、「離床範囲の設定」を行います。

「ベッドの高さ設定」は「設定」ボタンをタップすると選択項目が表示されます。対応するベッド高さをタップで選択した後、「OK」をタップします。対応するベッド高さは下記のようになります。

”10cm 以上”　：　10cm 以上 20cm 未満　（注）

”20cm 以上”　：　20cm 以上 40cm 未満

”40cm 以上”　：　40cm 以上 50cm 未満

”50cm 以上”　：　50cm 以上 60cm 未満

「離床範囲の設定」はベッドから降りることが可能な側を設定します。「左」「右」ボタンをタップし、オレンジ色であれば降りられる状態の設定になります。壁などがあり、ベッドから降りることのできない状態の場合のみ設定を外して下さい。見守り設定時、見守り対象者が降りられる側に行くと警告を出します。

すべての設定が終わりましたら「次へ」をタップします。

「戻る」をタップすると③へ戻ります。

（注）ベッド高さ“10cm 以上”は設定しないでください。使用する必要がある場合は販売元にお問い合わせください。

⑤ 離床設定画面４（設定情報の確認）

設定内容を確認し、問題なければ「設定」ボタンをタップしてください。

見守り装置に離床検出条件を設定します。

「戻る」をタップすると④へ戻ります。

「閉じる」ボタンをタップすると、設定せずに終了し、見守り画面に戻ります。

⑥ 離床設定画面５

設定終了の確認として「以下の設定をいたしました。」と内容確認の表示がされますので「完了」ボタンをタップしてください。「４．見守り画面」に戻りますが、見守りは開始していません。再度①に戻り「OK」ボタンをタップすることで見守りは開始されます。

④　⑤　⑥

５．メニュー説明（シングルモード）

見守り画面上部に共通メニューがあります。

① シングルモードマーク

シングルモード時「見守り」のマークが表示されます。

② 音量設定

見守り装置のマイク・スピーカーの音量を設定します。

タップすると音量設定バーが表示されます。

表示されているバーを動かし、音量を設定してください。

青いバーの長さで音量を示しており、右に動かす程大きくなります。

設定を保存する場合は「設定」をタップしてください。

設定を保存しない場合は「キャンセル」をタップしてください。

※　通話中は音量設定ボタンが無効となります。設定する場合は通話を終了してから実施ください。

③ ログオフ

タップするとログオフ選択画面が表示されます。

「ＯＫ」をタップするとログオフし、見守りサービススタート画面に戻ります。

「キャンセル」をタップすると見守り画面に戻ります。

６． 異常の内容説明と対応（シングルモード）

異常の内容説明と対応表

No	色/表示文字	内容・対応
1	圏外	無線 LAN の圏外にいます。 ・アクセスポイントに近づいてください。 ・アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。 ・アクセスポイントを再起動してください。
2	センサ OFF	見守り装置とアクセスポイント間の通信異常状態です。 アクセスポイントとの通信が一時的にできないと生じます。 ・見守り装置の電源が入っていることを確認してください。 ・見守り設定を行うと「停止中」になりますので、 再度見守りを開始してください。 ・再度、見守りを開始して復帰しない時は見守り装置の 電源プラグをコンセントから抜き、５秒以上間をおい て再度、電源プラグを入れてください。起動音鳴動後、 見守り開始を行ってください。 ・発生頻度が高い場合は無線環境を見直してください。 ・設定が間違いないか管理者に確認してください。 〇携帯アプリ設定 初期設定－サービスモード 見守り設定－IP アドレス
3	センサチェック	（オプション品との通信異常状態です。） ・オプション品が離されていないか、電池が 無くなっていないかを確認してください。

V.　使用上の注意

以下の注意事項は見守りの失報や誤報を引き起こす原因となりますので、使用には十分配慮してください。

１．使用者の制限

Mi-Ru は使い方の教育を受けた者だけが使うようにして下さい。

設定ミス等を引き起こす可能性があります。

２．バッテリの残量

バッテリが無くなると見守ることが出来ません。

失報に繋がりますのでバッテリの残量には気を付けて下さい。

2 時間毎にバッテリの残量チェックをするようにしてください。

３．バッテリの過充電

映像表示状態での充電や満充電での長時間充電などはバッテリの劣化につながります。

充電する際は電源を切るか、スリープ状態で行ってください。

４．設定ミス

見守りの設定条件で誤った設定にすると失報、誤報に繋がりますので注意して下さい。

５．使用環境

基本的に直射日光が差込む部屋では使用しないで下さい。

映像に直射日光が写らないような環境で御使用下さい。

見守り装置のカメラが蛍光灯の光を強く受けると映像がちらつく場合があります。

６．使用年数

5 年を超えての御使用は販売元に御相談下さい。

（携帯端末のバッテリおよび PC は除く）

記録媒体の寿命などで正常に動作できなくなる恐れが御座います。

７．保守、修理

保守、修理はユーザー様で行わないで下さい。

必ず販売元に御連絡下さい。

８．その他

正規の使用方法以外での御使用は危険ですのでお止めください。

電源は商用電源の AC100V を御使用下さい。

VI. ソフトウェア使用許諾書

第１条 権利
　お客さまは、本ソフトウェア（携帯端末に記録または記載された情報のことをいいます。）の使用権を得ることはできますが、特許権、著作権、その他一切の権利は弊社、弊社のライセンサーまたはその他ソフトウェアに関して権利を保有する第三者が所有するものであり、お客さまに移転するものではありません。

第２条 第三者の使用
　お客さまは、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第３条 解析、変更 または改造
　本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客さまの解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客さまに対する損害が生じたとしても 弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第４条 アフターサービス
　お客さまが使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または 文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第５条 免責
　本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第４条に限ります。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客さまの損害および第三者からのお客さまに対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社 および販売店などはその責任を負いません。

第７条 合意管轄
　本ソフトウェアの使用に関して、訴訟の必要が生じた場合、お客さまおよび弊社は弊社の本社所在地を管轄する裁判所に対してのみ訴えを提起することができるものとします。

第８条 準拠法
　本ソフトウェアの使用はあらゆる面において日本国の法律に支配され、かつそれに従って解釈されるものとします。

第９条 輸出管理
　本ソフトウェアは国内での使用を想定しておりますので、日本国外に持ち出さないでください。

保　証　書

品　　名：見守りシステムＭｉ－Ｒｕ用携帯端末
型　　名：ＭＳ－ＫＴ００２
製造番号：

お客様
御社名
部課名
お名前　　様
ご住所〒
電話番号　（　　）　　－

本保証書は、保証規定により　　年　　月　　日まで無償修理を行うことをお約束するものです。
保証期間は納入日から１年間です。

〔保証規定〕

１．取扱説明書、注意書などに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料で修理致します。
２．次の諸事項について保証期間内であっても全て有償になります。
　（イ）お取り扱い不注意による故障、その他無理なお取り扱いによる場合
　（ロ）火災・地震・水害・落雷、その他天災地変による故障及び損傷
　（ハ）異常電圧、指定外の使用電源による故障、異常及び損傷
３．本書は日本国内においてのみ有効です。
４．本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

発行　　年　　月　　日

販売・製造元 ワイエイシイエレックス株式会社
本　社　〒578-0912 大阪府東大阪市角田２丁目１－３６　TEL 072-963-1777